

issue+design、「地域しあわせラボ」ローカル・ハッピネス第5号発表

人はしあわせを求めて移り住むのか？

4人に1人が「移住したい」。

地域に求められるのは、「経済面の充実」だけでなく
「地域住民のしあわせ」も。

「地域の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、
地域課題をデザインの持つ美と共感の力で解決する
issue+designは、株式会社博報堂、慶應義塾大学
システムデザイン・マネジメント研究科（前野隆司
研究科委員長／教授）らと共同で、地域の幸福度を
測定するオリジナル調査「地域しあわせ風土調査」
を、全国15,000人を対象に実施いたしました。
その調査結果を報告するリサーチレポート
「ローカル・ハッピネス」第5号を発行いたしました。

| 人が移住先に求めるものとは |



第5号のテーマは「人はしあわせを求めて移り住むのか」。現在の日本社会において、地方都市圏から大都市圏への人口流出が進んでいることが、深刻な地域の人口減少につながっています。今号では、著名人が高知や福岡といった地方都市に移住し活躍を続けるケースが多くみられることから、日本人の移住意向について地域別に調査し、移住希望先となる地域に求められることをまとめました。

- ・男性より女性が、年配より若い人が、地方より都心の人が「移住したい」。
- ・移住ポテンシャルランキング第二位に、しあわせ風土ランキング第一位の「沖縄」がランクイン。
- ・「経済面の充実」と「地域住民のしあわせ風スコア」が高いほど、移住ポテンシャルが高いことが明らかに。

今回の調査結果を踏まえ、人口減少を抑制し大都市圏への人口流出を防ぐために、いま地域が早急にやらなければならないことがいくつか見えてきました。一つは、地域環境・インフラを確実に充実させることです。今回の調査では、男女とも、全年代を通して「公共交通インフラ」「飲食・買い物店舗」「地価・家賃」が、移住先に求める条件として上位にあがりました。住む、移動する、食べる、買う。こうした生活の基本条件を整えることが、移住先として選ばれ、地域住民がしあわせに暮らすために重要です。その上で、もう一つは、地域の魅力をしっかりと発信していくことです。移住集客力としあわせ風スコアの相関が見られましたが、しあわせ風スコアが高いものの、移住集客力が低い地域（九州勢や石川・岩手・山梨など）は、地域住民のしあわせ度が高い要因となっているそれぞれの魅力をしっかりと伝えていくことで、移住希望者が増える可能性が高いです。

『地域しあわせラボ』では、今後人口減少が急激に進む日本、地域における住民のしあわせの本質と構造を調査・研究し、今回の「地域しあわせ風土調査」をベースに、全国の自治体向けに、住民の幸福度を最大化するために必要なまちづくりや地域ビジョン・総合計画づくりを支援する調査・研究・コンサルティングサービスを提供してまいります。

| お問い合わせ |

【参考資料 1】

4人に1人が「移住したい」。

男性よりも女性が、中高年よりも若者が、地方よりも都心の人が、移住の意向が高い。

人は現在暮らしている地域から離れたいという気持ちがどの程度あるのでしょうか？

調査対象者全体では25.9%と4人に1人移住の意向があるようです。7.2%の方が1~2年以内とかなり近い将来に移住する気持ちを持っています。

男性よりも女性が、中高年よりも若者の移住意向が高い傾向です。地域別にみると東京圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）住民の約3割を占めるなど、都心暮らしの人がやや移住意向が強い傾向が見られます。

何年以内に移住を希望するか

1~2年 3~5年 6~10年 10年より先 移住希望率

全体
(15,000人)

7.2

5.7

3.7

9.4

25.9%

性別

男性
(7,500人)

7.0

5.1

3.3

9.4

24.8%

女性
(7,500人)

7.4

6.3

4.0

9.3

27.0%

年齢別

20~34歳
(5,000人)

12.1

7.7

3.3

7.2

30.3%

35~49歳
(5,000人)

6.2

4.6

2.8

12.1

25.7%

50~64歳
(5,000人)

3.2

4.8

4.8

8.8

21.6%

地域別

東京圏
(2,000人)

7.3

7.8

4.3

10.3

29.7%

東海圏
(2,000人)

7.7

4.8

4.1

10.7

27.3%

関西圏
(3,000人)

7.4

5.4

4.2

9.0

26.0%

その他
地方圏
(8,000人)

7.1

5.6

3.5

9.0

25.2%

【参考資料2】

移住したい人の4分の1が、東京圏への移住を希望。

「若い女性が職を求めて東京へ集まる」現況を示す結果に。

人はどこへ移り住みたいのでしょうか？

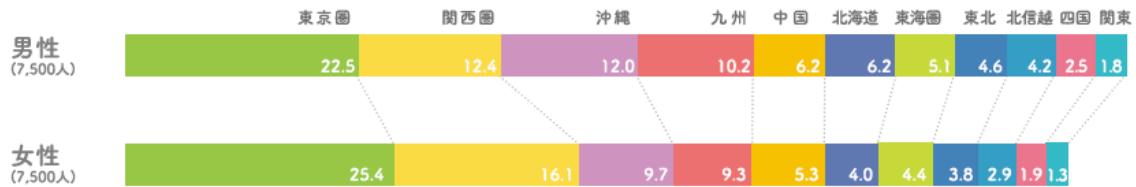
調査対象者全体では、4分の1は東京圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）への移住を希望しています。東京圏への移住意向は男性より女性が、中高年（35-64歳）より若者（20-34歳）が高い傾向です。若い女性が職を求めて東京に集まる現在の状況があらわれています。

また、14.3%で関西圏が続きます。こちらは男女差はみられません。特筆すべきは3番目に沖縄が登場することです。やはり南国・沖縄への憧れは大きいようです。若者より中高年の数値が高い事も特徴的です。

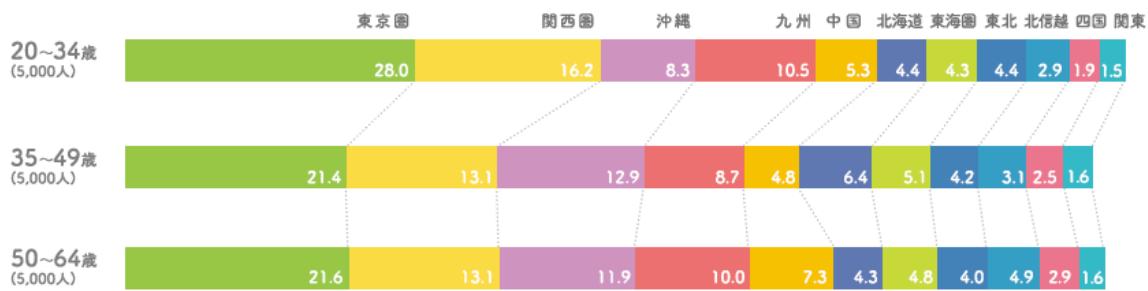
どこに移住を希望するか



性別



年齢別



■移住ポテンシャルランキング

各都道府県がどの程度の移住者を集められるポテンシャルがあるかを算出したランキング。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1位 東京都 | 6位 京都府 |
| 2位 沖縄県 | 7位 兵庫県 |
| 3位 神奈川県 | 8位 大阪府 |
| 4位 北海道 | 9位 千葉県 |
| 5位 福岡県 | 10位 長野県 |

※算出方法

日本人の20-64歳人口7413万人（2010年国勢調査）のうち、移住を希望している人2031万人（各都道府県別の移住希望率を掛け合わせて算出）、その移住希望者が移住先として希望する地域で各都道府県移住希望者数を算出。

【參考資料 3】

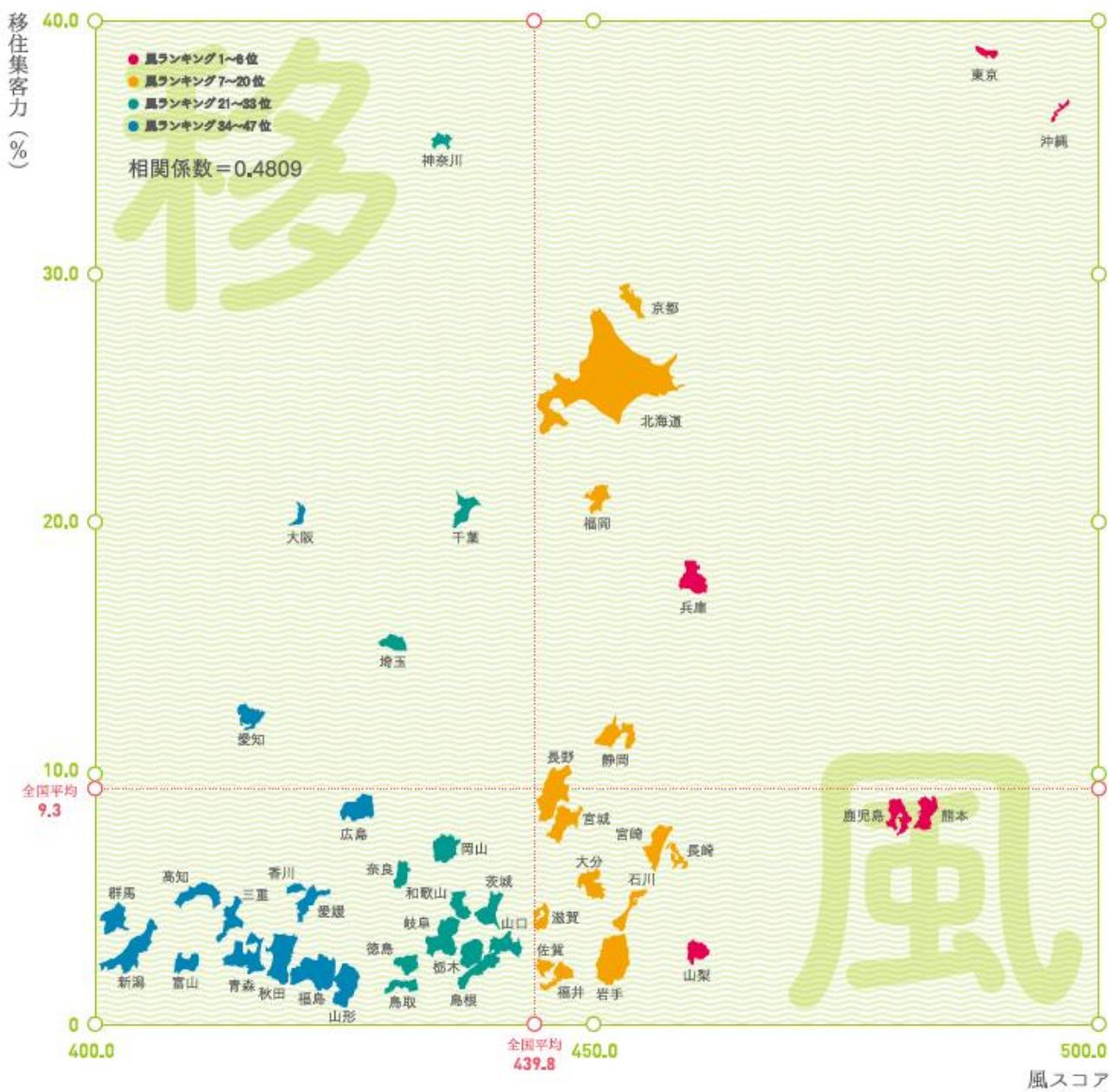
「現在暮らしている住民がしあわせであること」が、移住集客のカギに。

都道府県別のしあわせ風土・風スコアと移住集客力の関係性をあらわした散布図が以下のとおりです。左下から右上への相関関係がみられます。風スコア、すなわち現在暮らしている住民がしあわせである地域ほど、他の地域からの移住者を集められる力が強い、ということになります。

左上の風スコアが低いものの集客力が高いエリアには、神奈川・千葉・埼玉・大阪・愛知と大都市圏の自治体が並びます。幸福度以上に雇用などの経済面が集客力に寄与していると思われます。

右下のしあわせ風土・風スコアが高いものの、移住集客力が低いゾーンに位置する都道府県（鹿児島、熊本、宮崎、長崎、大分と九州勢+石川・岩手・山梨）は地域の魅力を情報発信することで集客力を高められる可能性があります。

地域の幸福度（しあわせ風土・風スコア）と移住集客力の相関図



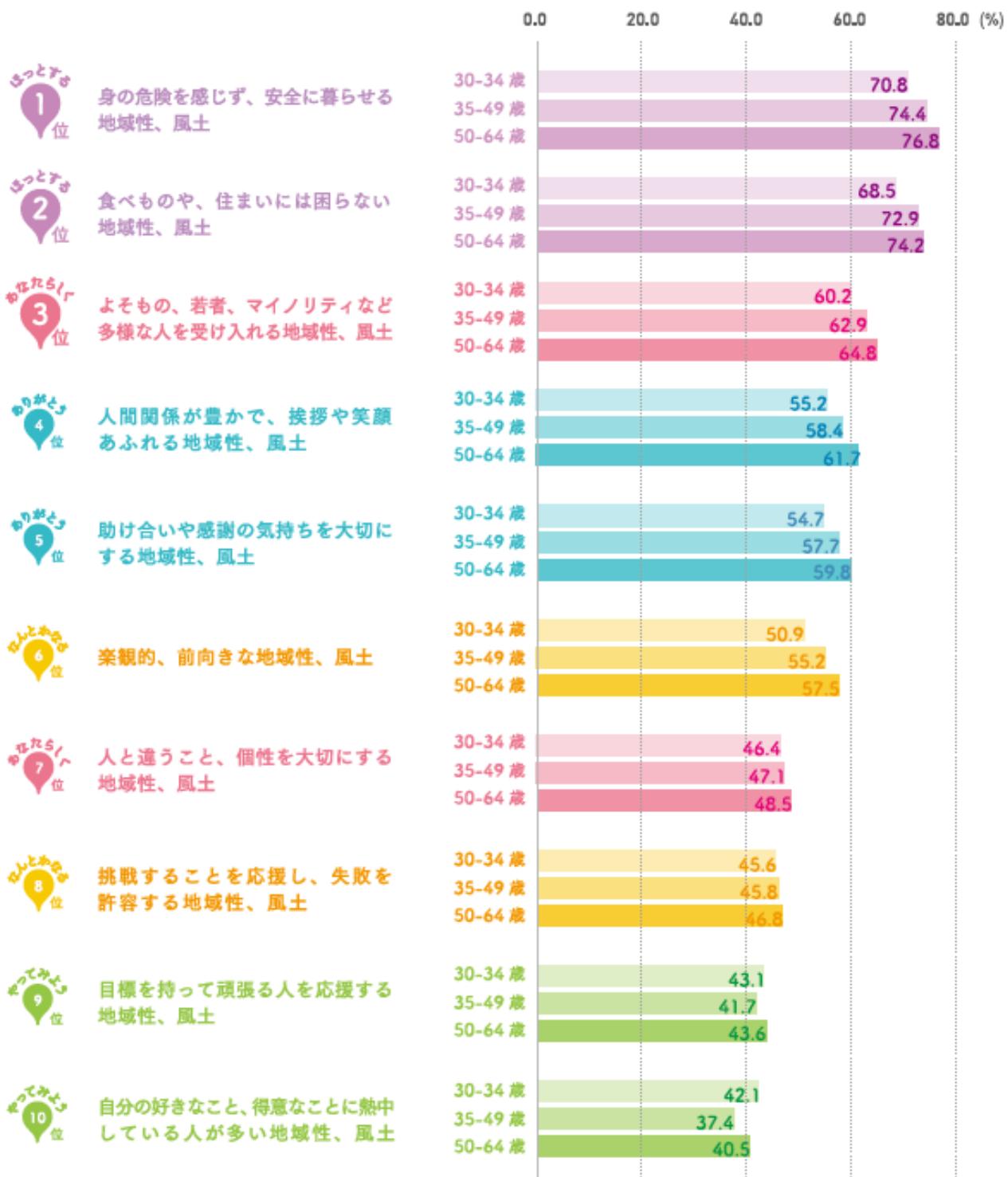
【参考資料4】

移住希望者は「安心・安全に暮らせ、受け入れられる地域」を求めている。

人はどんな地域に移住することを希望するのでしょうか？

しあわせ風土スコアを算出する際に用いる10の項目ごとに、移住希望地に求める割合をあらわしたもののが以下のグラフです。最も多くの人が求める条件が「身の危険を感じず、安全に暮らせる地域性、風土」、「食べ物や住まいには困らない地域性、風土」、「よそもの、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域性、風土」と続きます。安全・安心に暮らせ、受け入れられる地域を求めているようです。

移住先に求める地域性風土【年齢別】



【参考資料5】

「地域しあわせ風土調査」調査概要

調査地域：全国47都道府県

調査時期：2014年2月28日～3月10日

調査方法：インターネット調査

調査対象者：20歳から64歳までの男女、現在の地域に3年以上お住まいの社会人

サンプル数：15,000*各都道府県300サンプル（北海道のみ道東・道央・道南・道北各300）、男女各150名、20-34歳・35-49歳・50-64歳各100名

「地域しあわせ風土スコア」

5つのしあわせ指標（感情・意欲・気持ち）を日常どの程度感じるかの「風スコア」と、それぞれの指標を後押しする土壤、風土がどれくらいあるかの「土スコア」を足し上げ算出。

「地域のしあわせ5因子」

慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科（前野隆司研究科委員長／教授）と共に開発した、人が地域でしあわせな人生を送るために必要な5つの心構え、気持ち、行動姿勢。

- ・やってみよう指標：熱中できる・得意なものがあり、目標に向けて頑張る
- ・ありがとう指標：人とのつながりを大切にし、感謝の気持ちを忘れない
- ・あなたしく指標：人の目を気にせず、自分の信じたことをやりとげる
- ・なんとかなる指標：失敗や嫌なことにくよくよせず、前向きな気持ちで行動する
- ・ほっとする指標：毎日の生活や将来に対して不安を感じない

「地域しあわせ風土スコア」の算出方法

10の質問の5段階評価（非常によく当てはまる／少し当てはまる／どちらともいえない／あまり当てはまらない／全くあてはまらない）のトップ2ボックス（非常によく当てはまる+少し当てはまる）の合計パーセントを足したものと「地域しあわせ風土スコア」（「風」「土」それぞれのスコアを加算）と定義。

【「風」10の質問】

■やってみよう指標

- 1.得意としていることがある
- 2.何か、目的・目標を持ってやっていることがある

■ありがとう指標

- 3.人を喜ばせることができ
- 4.いろいろなことに感謝するほうだ

■なんとかなる指標

- 5.いまかかえている問題はだいたいなんとかなると思う
- 6.失敗やいやなことに対し、あまりくよくよしない

■あなたしく指標

- 7.自分と他人をあまり比べないほうだ
- 8.他人の目を気にせずに、自分がやるべきだと思うことはやる

■ほっとする指標

- 9.現在の暮らしや、自分の将来への不安は少ないほうだ
- 10.自分は安全な生活を送っていると思う

【「土」10の質問】

■やってみよう指標

- 1.自分の好きなこと、得意なことに熱中している人が多い地域性、風土
- 2.目標を持って頑張る人を応援する地域性、風土

■ありがとう指標

- 3.助け合いや感謝の気持ちを大切にする地域性、風土
- 4.人間関係が豊かで、挨拶や笑顔あふれる地域性、風土

■なんとかなる指標

- 5.挑戦することを応援し、失敗を許容する地域性、風土
- 6.楽観的、前向きな地域性、風土

■あなたしく指標

- 7.人と違うこと、個性を大切にする地域性、風土
- 8.よその、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域性、風土

■ほっとする指標

- 9.食べものや、住まいには困らない地域性、風土
- 10.身の危険を感じず、安全に暮らせる地域性、風土

